



日刊値日... 日刊値日... 日刊値日...

座講識常... ジョーランドは獨逸式... 集住住宅の事、アパ...

燈火管制用の電球... 軍人分會等で使用を奨める... 平町在郷軍人分會では来る防...

伯林通信... オリンピックの... 第四信 松野尾視察員... 八月七日午前十時半、高度...

溜池溺死... 石城郡湯本町の三崎七〇農... 雄二男小學二年生鈴木正通...

防空演習の... 仕掛花火... 來月七日九品寺の... 太子堂例祭の余興...

上遠野村の牧場 「ダニ」攻めに遭ふ 放牧仔馬は何れも瘦せ衰へ 果は死するものもある

再選になるであらうと 石城郡上遠野村は郡内の 馬産地で毎年百頭ぐらゐの産...

夏井川河口改修陳情

平土木監督所を経て縣へ 石城郡夏井川の下大越地内夏...

四倉市場

平均四四四四〇〇錢 四倉市場昨二十七日取引額...

自慢の柔道會

小名濱町の柔道會では齋藤、 深谷兩師範の指導を以て猛烈...

永戸村長の満期

石城郡永戸、箕輪組合村では 村長秋野太氏が来る十月二十...

本年徴集兵 抽籤決定 平町に於ける昭和十一年度徴...

人事不省 輿論の子供が誤つて 石城郡湯本町の大字高字館の内...

出納検査 石城は來二日から 縣會事會員の石城地方出納檢...

講演會記録 (2) 新田目ゆき子... それ等は各々の屬する社會...

青光院新盆に相當り候處提灯その 他供物等御贈與一切御辭退申上度...

青光院新盆に相當り候處提灯その 他供物等御贈與一切御辭退申上度...

青光院新盆に相當り候處提灯その 他供物等御贈與一切御辭退申上度...

青光院新盆に相當り候處提灯その 他供物等御贈與一切御辭退申上度...

青光院新盆に相當り候處提灯その 他供物等御贈與一切御辭退申上度...



筍罐詰の製造方法

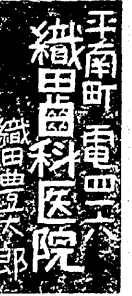
(1) 山村の副業に好適
需用は無限にある

筍の罐詰製造は山村の副業として當局の奨励により近年漸く盛んになり本縣の如きも西部方面で山竹の同加工品が漸次相當の産出を見られる様になつたが筍罐詰の先進地は京都、徳島、石川、福井、鳥取などが数えられてゐる、今同地の中、金澤市富樫信販利組合の製造状況を参考に述べて見る、

同組合は今年春金澤市に備入されたもので筍の産地として地方的に有名であつたが昭和六年の價格維持の建前から從來の個人經營を組合經營に發展したもので昭和六年の罐詰生産高は五ガロン罐四千個、六斤罐三千個から一昨九年には五ガロン罐六千個、六斤罐四千個となり越えて昨十年には左記のやうな業績を上げてゐる、

出荷符代	二四九〇七八
罐詰	一六八一七、三七
支出	
同 代	三二八六、六一
同 代	六八八、六〇
ハンダー	一四五、四〇
石炭	二〇三、六〇
符代	一一〇三、七三
人夫賃	一一六八、二八
資金利子	三八〇、五七
符代	四九、九五
改築費	二二八、一五
總費	一四八、〇二
運賃	一三五、〇〇
荷造費	六六、七六

であつた、



平町 田町
三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 用命は 三三三屋

産科 婦人科 院長 長木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

平町新川町九一
入院隨意 病室完備
木村病院
電話一六四番

八月五日開店致しました

ハナハ 衛生 經濟
原料は精魚を吟味し製造法に注意してありますから衛生上完全無缺の良品で、鮮度と少しも異なる事なく各地に於て好評を受けて居ります

小卸 賣
商店製造部 (平町六丁目)

お醤油は ヤマフル

醤油味贈
たひら正宗
鯉節食料品

舎屋 山崎合名會社

明治生命磐城代理店 山崎與三郎
電話一營業部二七〇番

婦人洋傘 着涼着

(大見切)

店内に澤山陳列して御座います是非御来店の程を御待ちして居ります

ツルヤ 平四 電一四〇

北川外科

平町新川町(諸橋醫院跡)
醫學博士 北川良夫
小林義次
電話四六四番

食事 喫茶 酒場を兼ねた
レストラン サロン
平町 電話 352

整形外科 X光線科

平町搔樋小路 大河内 整形外科醫院
電話五八八

新荷取揃へましたから御中元御贈答品として是非當店へ
田口はき物店 電話三七七番

目科療診
一、齒科 一般
保存科、補綴科、鑲齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、一、口腔 外科
レントゲン科

中野齒科醫院
院長 日本齒科 醫學士 中野惠次
醫學士 西川 誠
平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

祝 弔 調製花 山光堂
平四丁目通り 電話五五〇番
佛壇、塗位牌、金物佛具品 取揃へてあります

和洋銅鐵、金物問屋
店商屋釜 九九・九電

